

多摩市グリーンカーテン2012年 みどりと環境課・教育委員会 連携事業



多摩市内の小
中学校では、学校
でゴーヤの種から
育てた苗を栽培して
グリーンカーテンを
つくるとともに、
地域の図書館や
児童館、ご家庭にも

育てた苗を配って、グリーンカーテンづくりを地域に広げ
節電を広めていくプロジェクトを進めています。



グリーンカーテンから 広がるESDの取り組み

ESD (Education for Sustainable Development) は、持続可能な社会
づくりにかかわる課題を見つけ、解決
していく力を子どもたちに身につける
ことを目的にしています。今年度は、
ゴーヤ栽培を体験で終わらせるのでは
なく、そこで感じたり考えたりしたことを表現し伝えることで、より多くの
人と地球規模の課題解決に取り組む資質や能力の育成をねらいとし、
グリーンカーテン写真と俳句展を開催しました。また、学校で育てた
苗を持ち帰るだけでなく、生徒会等を中心にして駅前で市民にゴーヤの
種を配布し、栽培を呼びかけたり、募金活動に発展させたりするなど、
グリーンカーテンの取り組みが様々な形で広がっています。



▲写真と俳句展では
400点の作品を展示



中学校生徒が市内の駅で
ゴーヤの種を配布

グリーンカーテンで 地域とつながる ～2050年の大人づくり～



▲NPO「楽農倶楽部」に
苗の植え方を教わります



多摩市では、持続可能な社会の
担い手づくりを目指して「2050年の
大人づくり」をキャッチフレーズに、
学校と地域が一体となってESDに
取り組んでいます。また、市内には
環境や文化などさまざまな資源や教育活動を支える多くのNPOが存在し、
これらの教育資源をいかした体験活動を充実させ、主体的に問題解決する
取り組みを進め、未来のまちづくりに参加できる人材を育てています。学校での
ゴーヤ栽培には地域のNPOや大学職員・学生にもご協力をいただいております。
多くの人とのつながりの中でグリーンカーテンプロジェクトが進められています。